



みずほ

まちづくり協議会だより

46号

2022.6.24

発行/2022年(R4)6月24日 発行者/瑞穂地区まちづくり協議会事務局 瑞穂地区地区公民館 〒689-0221 鳥取市気高町下坂本48-4 電話82-2206

瑞穂地区スポーツ大会で盛り上がる!

瑞穂地区大運動会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされて3年目。地区住民の運動、また交流の場が必要と考え、これに代わるものとして、年代を超えて参加できるグラウンドゴルフ大会をまちづくり協議会も共催して開催しました。

当日は、心配された雨が降ることなく、50名の選手のみなさんと各集落の協力者、また、見学に来ていた子どもたち、あわせて約80名の賑やかな声が小学校グラウンドに響きました。

今回のいちばんの目的は、地域のみなさんが交流すること。選手には小学生、中学生の参加もあり、異世代間の交流は互いにより刺激をもたらしたことでしょう。



集計の間、ちょっと休憩



区長会長からひとこと

山下泰之さん(下坂本)

事業が次々中止になる中で、地区のみなさんが集まってコミュニケーションの場になり、とても良かったです。これからもウィズコロナで今まで通りの活動に戻っていきましょう!



まちづくり協議会会長 閉会のあいさつ

入賞のみなさん

優勝 上高浜 A

(敬称略)

部落対抗の部	1位	上高浜 A	2 1 4 点
	2位	土居	2 2 2 点
	3位	日光 A	2 3 2 点

個人の部	1位	石黒継雄	2位	伊木輝行
	3位	下村 始	4位	木本美和子
	5位	西垣祐太郎		

特別賞の部	1/50	きらり賞(区長会長賞)	濱本仁志
		ベストプレイヤー賞(館長賞)	斉藤邦子
		最年長賞	中原幸子
		ラッキー7賞	田中 優

2022(令和4)年度事業

総務部会

美しい環境づくり

- 広域農道維持管理作業 (草刈り)
- あじさい・コスモスロードの維持管理
- 緑の募金事業 (花苗の植栽)

地区防災対策の推進

- 地区防災訓練、防災資機材の整備
- 防災、防犯講演会等

青少年育成活動の推進

- あいさつ運動 (毎月1・15日)

世代間交流

- 貝がら節祭りへの参加
- 地区文化祭の充実

地域文化部会

健康福祉部会

高齢者支援事業の推進

手作り豆腐の配達 (配食サービスと共催)

健康づくりの推進

健康講座、健康ウォーク、しゃんしゃん体操の普及
地区運動会の充実 (代替事業としてスポーツ大会の開催)

役員紹介

会長 塩田 則夫

副会長 山下 泰之

(敬称略)

総務部会長	山下 泰之
副部会長	片山 治
地域文化部会長	寺谷 義彦
副部会長	串岡 和貴

健康福祉部会長	堀尾 知子
副部会長	宮石さよみ
会計監査	下村 佳弘
	池辺 弘

草刈りで広域農道が見違えるほどに

6月4日（土）、総務部会を中心に協議会委員、草刈り場所の両側に耕作地をお持ちの方、約20名の方に協力いただき、草刈り行いました。山崎橋手前の法面も、安全第一で刈っていただきました。

草を刈って分かったことは、空き缶、タバコの吸い殻がかなりあったこと。



気高町では、ホタルの姿が見えなくなったと言われているなか、瑞穂では見頃時期になると数多くのホタルが飛んでいます。

また、これからコスモスの種蒔が始まり、秋にはコスモスの開花が、通るひとの目を楽しませてくれます。

協議会では、瑞穂の環境を守るためにも地域みなさんとともに、美しい景観づくりに努めていきたいと考えます。

協働のまちづくりについて

鳥取市の取り組み

導入 鳥取市では、平成20年を「協働のまちづくり元年」とし、各地区にまちづくり協議会の設立を呼びかけ、市内61館ある地区公民館単位にまちづくり協議会が発足しました。

課題 発足から10年以上が経過し、急速な人口減少、少子高齢化、地域課題の多様化、地域のつながりの希薄化など、地域コミュニティーを取り巻く環境は厳しさをましています。

発展 協働のまちづくりガイドラインを策定
 ・希望する地区での組織一体化・関連する補助金等を一括交付とする
 ・地区公民館の幅広い活用 など

瑞穂地区の取り組み

導入 瑞穂地区では、平成20年12月20日に「瑞穂地区まちづくり協議会」を発足し、地域課題解決に向けた事業に取り組んできました。

課題 人口減少等にとまなう後継者、担い手不足により組織や活動の維持存続が不安。小学校統合により子どもの顔がみられなくなることで、地域の影響はどうか。

発展 公民館での学びを生かした地域活動が必要になり、組織のあり方の検討が必要。「瑞穂地区を語る会（公民館主催）」等を利用してみなさんと意見を共有していきたいと考えます。

まちづくり協議会と公民館運営委員会が一体化するとどうなる？

- それぞれが単独で行っていた類似事業が一つにまとまり効率的になる（事業の棚おろし）。
- 互いの関連する補助金等の活動資金を一本化することで柔軟な運用ができる。
- 役員の重複が軽減する。特に、区長さんはまち協、公民館の役員でもあり、組織統合することで負担軽減になる。



- 一体化することで、公民館、館長の位置づけはどうか？
- 地域組織（まちづくり協議会）がまちづくり事業と公民館運営を行うにあたっての法制上の整理が必要なのは？



お知らせ

7月16日（土） ナイトウォーク
 （公民館主催）

内容 鹿野方面（往復約8km）

毎月1・15日 午前7時30分頃
 あいさつ運動

内容 小学生児童の登校時間に合わせて朝のあいさつ運動を行います。子どもたちの見守りにご協力ください。

緑の募金事業

瑞穂地区の交付金が **45,700円** に確定しました。各集落募金実績で花苗を準備いたします（10月頃）。準備ができ次第、各区長さんにご連絡させていただきます。よろしく申し上げます。



あじさいが見頃
あじさい・コスモスロード

県道233号線沿いで咲き誇っているあじさいが、じめじめした梅雨の季節を涼やかにしてくれています。

